

# 湯沢CS通信

令和8年2月17日 第90号

(発行) 湯沢市教育委員会

学校教育課 CS担当

令和七年度もいよいよ終わりに近付いてきました。二月に入り、各小・中学校では第四回学校運営協議会が開催され、今年度の振り返りや次年度の計画等が話し合われています。

さて、山田小・中学校では、第四回小・中合同学校運営協議会を開催し、次年度の活動につなげるための「熟議」を行いました。90号では『私たちの山田』と地域の方と語り合おうのテーマのもとで開催された熟議について紹介します。

## 山田小学校

## 山田中学校

目的 山田中学校が閉校となる今、中学校が地域の中で

果たしてきた役割を引き継ぎ、地域に活気を生み出すために小学校ができることを小・中学生、小・中教員、学校運営協議会委員と一緒に熟議することによって、地域に根ざしたキャリア教育として取り組むCS事業を通し、学校課題を解決するための糸口を見付ける。

日時 二月三日(水) 十四時～十五時二十分

会場 山田小学校ランチルーム

参加者 小学五・六年生(二十八名)、中学一・二年生(十名)、教員(七名)、学校運営協議会委員(十七名)

ファシリテーター 土田裕志校長先生

議題 地域を元気にするために学校ができることは何だろう？山田中から山田小に引き継ぐものを意識して

形態 一班に五～六名、全部で十班

## 【記録から】

### 提案事項

- あいさつを軸にした人間関係づくり
- ・ あいさつ運動
- ・ 一緒に活動することで、あいさつの機会や自然な関わりが生まれる。
- ・ 笑顔が増え、地域全体が明るくなることを目指す。
- 地域をきれいにし、支え合う活動
- ・ フラワーロード ・ クリーンアップ活動
- ・ 雪かき、雪寄せボランティア
- 地域行事やイベントへの参加
- ・ トークフォークダンス ・ 山田大運動会
- ・ 盆踊り大会、雪合戦 ・ お祭り、フリーマーケット
- ・ 地域イベントへの積極的な参加(南中生になっても)
- 体験活動、ものづくりを通じた交流
- ・ なべっこ ・ 大食い大会
- ・ 雪像づくり、スノーアート
- ・ 山田バーガーなどの商品開発と販売
- 地域理解、学びを深める活動
- ・ 防災教室、防災のかたちを考える。
- ・ 山田歴史伝承館 ・ 山田カルタ
- ・ 山田を紹介する動画づくり

☆このあと提案事項をもとに、両校の会長、校長、教頭で次年度の活動の方向性を協議する予定。



## 「学校・家庭・地域連携協議会」に参加

一月二十九日(木)、「第二回学校・家庭・地域連携協議会」が県生涯学習センターで開催され、湯沢市からは六名が参加しました。この協議会の趣旨は、学校・家庭・地域における連携・協働の在り方について研究協議し、地域全体で子どもを育てる環境づくりの推進に役立てることです。

### 基調講義

「レッツ・コミスク・メイキング！」

「コミスクが地域と学校と生徒にもたらした変化」

講師・栃木県立真岡工業高等学校 校長 井上昌幸氏  
演習

「井上先生考案！地域と学校の連携・協働体制を可視化するためのチェックリストに取り組もう」

### 基調講義から

#### I 学校と地域の連携・協働で期待される効果

○子どもたちにとって

- ・「生きる力」が育成される。 ・地域への愛着が芽生える。
- ・学力向上の基盤をつくる。 ・社会性が育まれる。

○地域や保護者にとって

- ・生涯学習活動が充実する。 ・地域の教育力が向上する。
- ・地域コミュニティが活性化する。

○教職員にとって

- ・地域への理解が深まる。 ・授業の内容が充実する。

○学校にとって

- ・教育課題が解決される。 ・地域との協働につながる。

- ・地域との信頼関係が構築される。
- ・教育課程の質が向上する。

#### II コミュニティ・スクールとは

○コミ・スクとは？

- ・意見をするだけでなく、学校づくりのために地域の方々と一緒に汗をかいてもらうための仕組み。
- ・話し合いながら合意形成を行い、方向性を決める。そこで熟議を通じた合意形成を行う。
- ・話し合うことで、自分がやることが見えてくる(他人事から自分事になる)。

#### III コミ・スクを立ち上げてみて

○地域とともにある学校を実感！

- ・学校だけでは学べないものがある。
- ・生徒が地域に出れば、必ず何かを学んでくる。
- 地域の人が地域の人を連れてくる！

・キーマンをつかまえば、メンバーが自然と揃う。

・一緒に汗をかいてくれる人が集まる。

○学校課題の解決を目指す！

- ・まずは学校課題の解決。そのあと地域づくりに。
- ・教員には「地域づくり」は他人事になる。

○コミ・スクづくりは楽しい！

- ・生徒が生き生きと活動する。教員がそれに気付く。すると地域が学校の変化に気付く。
- ・生徒の主体的に学ぶ姿勢は、地域に出て行かせ、身に付けさせる。